

第 294 回競技委員会議事録

1. 日 時：2025 年 8 月 6 日（水）18 時 00 分～20 時 00 分

2. 会 場：四谷ブリッジセンター B1

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 14、定足数 10、出席 13 で成立。

山後秀幸委員長、寺本直志、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、桜井雅子、久富健史、
吉田正、仲村篤志、浅越ことみ、宋逸寒

Zoom で出席：山田和彦競技会事業担当理事、波多江隆児、石橋瑞己

欠席：正村祐一

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：山後秀幸委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 クラブディレクター承認の報告

杉本 光翼	249289	C-01237	京都府
坪井 麻由美	243656	C-01238	神奈川県
内海 裕紀子	245621	C-01239	神奈川県
山本 佳子	192798	C-01240	東京都

第 2 号議案 セクショナルディレクターの承認

仲田 紀子	203386	C-01097	東京都
推薦者 高橋 克己	16740	S-00118	

第 3 号議案 地域対抗選手権決勝で 4T に満たないケースについて

- 1) 地域対抗選手権決勝で 4T に満たない場合の固定マスターポイントについて審議した。代表選手権でチーム数が少ない場合の規定を準用し、3T のときは 75%、2T のときは 50%とすることとした。
- 2) フライト A のチーム数が少ないことについて対策を検討した。その結果、全地区 2 チームまで参加可能とするが、2 チーム目には交通費助成を行わないという案があり、これについて各地区に意見を聞くこととした。

第 4 号議案 会友からお手紙について（ディレクターの定年制について）

「高齢のディレクターの運営で、特に PC 等のトラブルにより運営に支障をきたすことがあるため 75 ～ 77 歳等で定年を決めて頂きたい。」というお手紙があった。高齢であっても能力が高いディレクターはおり、また主催者はどのディレクターを雇うか選択できることから、定年制は設けていないことを事務局より説明することとした。

第 5 号議案 ストッパーショーイング、ストッパーアスキングのアラートについて
コンベンション WG にて検討することとした。

第 6 号議案 IMP リーグ、ジュニア II における 22 ボードの運営について

ジュニア II を 22 ボードで運営したいという意見があり審議した。その検討の結果、ジュニア I、ジュニア II、MP △ 300、MP △ 100 においては 20 ～ 24 ボードの範囲でボード数を選択できることとした。HANDBOOK p.143(1)も合わせて修正する。

第 7 号議案 その他議案

- 1) ゲラー委員より「テンポあるいは所作の変化」についての会報原稿案の提出があり、内容を検討した。内容には合意し、事務局で体裁を整えることとした。
- 2) 藤山杯で 1 ラウンドのボード数を減らしてほしいという意見があった。9 チームの場合はダブルラウンドロビンで行うこととした。

次回競技委員会は 2025 年 10 月 1 日（水）18 時 00 分から四谷ブリッジセンター 2F での開催を予定する。

以 上